

製品名: LAP1B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13213**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	66kDa

抗原情報

遺伝子名	TOR1AIP1
別名	TOR1AIP1; Torsin-1A-interacting protein 1; Lamin-associated protein 1B; LAP1B
遺伝子 ID	26092.0
SwissProt ID	Q5JTV8
免疫原	抗血清はヒト TOR1AIP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

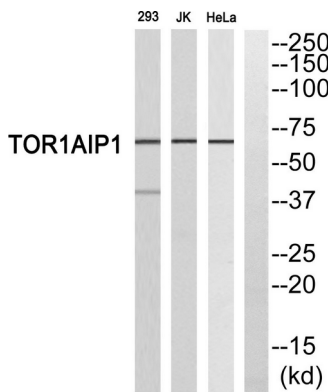
背景

この遺伝子は、A型およびB型ラミンに結合する2型膜貫通タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は核内膜に局在し、細胞分裂中に核膜と核ラミナの接着を維持する役割を担っている可能性があります。選択的スプライシングにより、複数

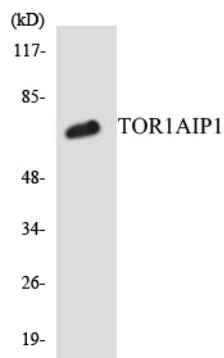
の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年4月]、機能: A型およびB型ラミンに結合します。膜への接着と核ラミナの組み立てに関与している可能性があります。、翻訳後修飾: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性: TOR1AIP ファミリーに属します。、サブユニット: TOR1A と相互作用します。、

研究分野

画像データ



TOR1AIP1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは TOR1AIP1 ペプチドでブロッキングされている。



TOR1AIP1 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



LAP1B ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。